

Kirei Lifestyle Plan 中長期目標 解説 103-1,103-2,103-3

P20～21に掲載しているKirei Lifestyle Plan 中長期目標について、各指標を構成する数式と因子、対象範囲は以下の通りです。

快適な暮らしを自分らしく送るために

重点取り組みテーマ等	指標		目標値	目標年	基準年
	数式	因子			
快適な暮らしを自分らしく送るために					
コミットメント	より清潔で、健康に、安心して年齢を重ね、自分らしく生きられるように、よりこころ豊かな暮らしに貢献した人数		10億人	2030	—
	2021年開示予定				
QOLの向上	快適で、美しく、すこやかな暮らしに貢献し、こころに響く新製品・改良品の比率		100%	2030	—
	2021年開示予定				
清潔で美しくすこやかな習慣	花王の製品やサービスを使い、清潔で美しくすこやかな習慣を身につけるための啓発活動のカバー率(範囲:対象ターゲット)		100%	2030	—
	2021年開示予定				
ユニバーサル プロダクト デザイン	花王ユニバーサルデザインガイドラインに適合する新製品、改良品の比率		100%	2030	—
	A / B × 100 (%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A:適合基準を満たす製品数(個) ・ B:すべての製品数(個) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花王グループの家庭用製品 ・ 新規製品、改良製品 		
より安全でより健康な製品	設定した懸念成分を対象に、花王の考え方を開示した比率		100%	2030	—
	A / B × 100 (%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A:考え方について公開した懸念物質数(個) ・ B:設定した懸念物質数(個) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花王グループ 		

Kirei Lifestyle Plan 中長期目標 解説 103-1,103-2,103-3

思いやりのある選択を社会のために

重点取り組みテーマ等	指標		目標値	目標年	基準年
	数式	因子	範囲		
思いやりのある選択を社会のために					
コミットメント	より活力と思いやりのある社会の実現のために、小さくても意味のある選択を生活者ができるように提案したブランド比率		100%	2030	—
	2021年開示予定				
サステナブルなライフスタイルの推進	サステナブルなライフスタイルを実現する情報、情報ツールの提供、および啓発・対話活動を実施しているブランド比率(範囲:対象ターゲット)		100%	2030	—
	2021年開示予定				
パーバズドリブなブランド	社会的課題に対応し、生活者の暮らしや社会で共感を得られる、存在意義のあるブランドの比率		100%	2030	—
	A / B × 100 (%)	・ A:適合基準を満たすブランド数(件) ・ B:花王が保有し上市しているすべてのブランド数(件)	・ 花王グループのコンシューマープロダクツ事業		
暮らしを変える製品イノベーション	ライフスタイルに大きく、ポジティブなインパクトを与える製品の提案		10件以上	2030	—
	A(件)	・ A:暮らし・社会・環境に対して、大きくてポジティブな変化を起こすことができるイノベーションが盛り込まれた製品・サービスに関する、2019年以降の累積発表件数(件)	・ 花王グループの家庭用製品		
	サステナブルガイドラインに適合した新製品・改良品数の比率		100%	2030	—
	A / B × 100 (%)	・ A:Kirei Lifestyleを実現する次の要件を満たす自社技術が新しく導入された新製品ならびに改良品の数(個) ①環境をよりよく変える技術 ②暮らしと社会をよりよく変える技術 ・ B:1年間に発売された新製品ならびに改良品の数(個)	・ 花王グループの家庭用製品、産業向け製品		
責任ある原材料調達	家庭用製品に使用した認証紙製品・パルプの比率		100%	2025	—
	A / B × 100 (%)	・ A:花王グループの家庭用製品に使用した認証紙製品・パルプ(FSC、PEFC、SFI)の重量(t) ・ B:花王グループの家庭用製品に使用した紙製品・パルプの重量(t)	・ 花王グループの家庭用製品に使用した紙製品・パルプ ・ 花王グループで使用した事務用紙など		
	小規模パーム農園までのトレーサビリティ確認		完了	2030	—
	A(カ所)	・ A:トレーサビリティを確認した小規模パーム農園数(カ所)	・ 小規模パーム農園		

Kirei Lifestyle Plan 中長期目標 解説 103-1,103-2,103-3

よりすこやかな地球のために

重点取り組みテーマ等	指標		目標値	目標年	基準年
	数式	因子	範囲		
よりすこやかな地球のために					
コミットメント	全ライフサイクルにおいて、科学的に地球が許容できる範囲内の環境フットプリントである製品比率		100%	2030	—
	2021年開示予定				
—	外部評価機関による評価レベル		最高レベル	毎年	—
	—	CDPの気候変動、水、森林のそれぞれで、同時にA評価を取得	・花王グループ		
脱炭素	ライフサイクルCO ₂ 排出量(絶対量)削減率		22%	2030	2017
	$(1 - A / B) \times 100 (\%)$	・ A:対象年の年間ライフサイクルCO ₂ 排出量(t-CO ₂) ・ B:基準年の年間ライフサイクルCO ₂ 排出量(t-CO ₂) ※基準年:2017年	・花王グループの家庭用製品の全ライフサイクル工程 ・花王グループの産業向け製品の原材料調達、生産、輸送工程		
	スコープ1+2 CO ₂ 排出量(絶対量)削減率		22%	2030	2017
	$(1 - A / B) \times 100 (\%)$	・ A:対象年の年間スコープ1+2 CO ₂ 排出量(t-CO ₂) ・ B:基準年の年間スコープ1+2 CO ₂ 排出量(t-CO ₂) ※基準年:2017年	・花王グループが保有する工場、物流拠点、オフィス、営業車		
ごみゼロ	革新的なフィルム容器の年間普及量(花王+社外)		3億個	2030	—
	A + B (個)	・ A:革新的なフィルム容器販売数(花王グループ)(個) ・ B:花王の技術を使用・応用した革新的なフィルム容器販売数(他社)(個)	・花王グループおよび他社		
	廃棄物量(全拠点から排出し、リサイクルされないもの)		ゼロ	2030	—
	$(1 - A / B) \times 100 (\%)$	・ A:再資源化された重量(t) ・ B:廃棄物の重量(t) ・ 当指標が1%未満の場合を、「ゼロ」とする	・花王グループが保有する工場、物流拠点、オフィス ・ 法的にリサイクルできないものを除く		
水保全	ライフサイクル水使用量(原単位)削減率		10%	2030	2017
	$[1 - (A_1/A_2) / (B_1/B_2)] \times 100 (\%)$	・ A ₁ :対象年の年間ライフサイクル水使用量(百万 m ³) ・ A ₂ :対象年の売上金額(億円) ・ B ₁ :基準年の年間ライフサイクル水使用量(百万 m ³) ・ B ₂ :基準年の売上金額(億円) ※基準年:2017年	・花王グループの家庭用製品の全ライフサイクル工程 ・花王グループの産業向け製品の原材料調達、生産、輸送工程		
	渇水地域におけるライフサイクル水使用量(原単位)削減率		40%	2030	2017
	2021年開示予定				
大気および水質汚染防止	VOC、COD 排出量を開示する工場の比率		100%	2025	—
	$A / B \times 100 (\%)$	・ A:VOC 排出量・COD 排出量を開示している工場数(カ所) ・ B:全工場数(カ所)	・花王グループが保有する工場		

Kirei Lifestyle Plan 中長期目標 解説 103-1,103-2,103-3

正道を歩む

重点取り組みテーマ等	指標		目標値	目標年	基準年
	数式	因子	範囲		
正道を歩む					
実効性のある コーポレートガバナンス	外部評価機関による評価レベル		最高レベル	毎年	—
	選定	「World's Most Ethical Companies(世界で最も倫理的な企業)」(Ethisphere Institute)に選定	・花王グループ		
	重大なコンプライアンス違反件数		ゼロ	毎年	—
	A (件)	<ul style="list-style-type: none"> 重大なコンプライアンス違反案件とは、経営に重大な影響を与え、企業価値を大きく毀損する案件をいう 該当案件については、違反行為の悪質性と社内外への違反の影響などを踏まえて、コンプライアンス委員会および経営会議での審議を踏まえて決定し、取締役会に報告する 	・花王グループ		
徹底した透明性	成分情報が簡単に入手できる製品比率(家庭用製品)		100%	2030	—
	A / B × 100 (%)	<ul style="list-style-type: none"> A: 次の要件を満たすブランド数(件) <ul style="list-style-type: none"> ・規定量以上の化合物情報(成分名と配合目的)を開示 B: 花王が保有し上市しているすべてのブランド数(件) 	・花王グループの家庭用製品		
人権の尊重	人権デュー・ディリジェンス対応実施率(社内におけるリスクアセスメント)		100%	2030	—
	A / B × 100 (%)	<ul style="list-style-type: none"> A: アセスメントを実施した工場(カ所)および花王グループの会社数(社) B: 花王グループ全工場(カ所)および花王グループの全会社数(社) 	・花王グループが保有する工場および事業所		
	人権デュー・ディリジェンス対応実施率(サプライヤーにおけるリスクアセスメント)		100%	2030	—
	A / B × 100 (%)	<ul style="list-style-type: none"> A: 当該年より3年以内にアセスメントを実施したサプライヤー数(社) B: 当該年に取引のあったサプライヤー数(社) 	・花王グループの直接材のサプライヤー		
	人権デュー・ディリジェンス対応実施率(委託先におけるリスクアセスメント)		100%	2030	—
	A / B × 100 (%)	<ul style="list-style-type: none"> A: 当該年より3年以内にアセスメントを実施した委託先数(社) B: 当該年に委託した委託先数(社) 	・花王グループが保有する事業場内の業務委託先		
受容性と多様性のある職場	社員の声・社員意識調査「Find」の「受容性と多様性に関する設問」における肯定的回答率		75%	2030	—
	A / B × 100 (%)	<ul style="list-style-type: none"> A: 社員の声・社員意識調査「Find」の「受容性と多様性に関する設問」の肯定的回答数(件) B: 社員の声・社員意識調査「Find」の「受容性と多様性に関する設問」の回答数(件) 	・花王グループ社員		
	女性管理職比率		全社員女性比率に同じ	2030	—
	A / B × 100 (%)	<ul style="list-style-type: none"> A: 女性の管理職人数(人) B: すべての管理職人数(人) 	・花王グループ社員 ・管理職全体		

Kirei Lifestyle Plan

自分らしく暮らすを
快適な暮らしを
送るために

思いやりのある選択を
社会のために

よりすこやかな
地球のために

正道を歩む

Kirei Lifestyle Plan 中長期目標 解説 103-1,103-2,103-3

重点取り組みテーマ等	指標		目標値	目標年	基準年
	数式	因子			
正道を歩む					
社員の健康増進と安全	休業災害度数率(100万時間当たり)		0.1	2030	—
	$A / B \times 1,000,000$ (人/百万時間)	・ A:死傷者数(休業1日以上および体の一部または機能を失った者)(人) ・ B:年間のべ総実労働時間(時間)	・ 花王グループ社員		
	平均長期休業日数(日/人) ※日本から開始		105	2030	—
	$(A_1 + A_2 + \dots + A_n) / B$ (日/人)	・ A:次の要件を満たす休業日数(日) ①層で連続30日以上長期休業 ②私傷病休暇、欠勤、退職を対象とし、有給休暇は対象外とする ③対象となる疾病:私傷病 ・ B:休業総人数(人)	・ 日本の花王グループ社員 ※将来は、日本以外を含む花王グループへ展開		
	長期休業者率(千人率) ※日本から開始		0.12	2030	—
	$A / B \times 1000$ (%)	・ A:次の要件を満たす長期休業者人数(人) ①層で連続30日以上長期休業 ②私傷病休暇、欠勤、退職を対象とし、有給休暇は対象外とする ③対象となる疾病:私傷病 ・ B:社員数総数(人)	・ 日本の花王グループ社員 ※将来は、日本以外を含む花王グループへ展開		
人財開発	社員の声・社員意識調査「Find」の「人材育成の仕組み・風土」における肯定的回答率		75%	2030	—
	$A / B \times 100$ (%)	・ A:社員の声・社員意識調査「Find」の「人材育成の仕組み・風土に関する設問」の肯定的回答数(件) ・ B:社員の声・社員意識調査「Find」の「人材育成の仕組み・風土に関する設問」の回答数(件)	・ 花王グループ社員		
	社員の声・社員意識調査「Find」の「会社/仕事への満足」における肯定的回答率		75%	2030	—
	$A / B \times 100$ (%)	・ A:社員の声・社員意識調査「Find」の「会社/仕事への満足に関する設問」の肯定的回答数(件) ・ B:社員の声・社員意識調査「Find」の「会社/仕事への満足に関する設問」の回答数(件)	・ 花王グループ社員		
責任ある化学物質管理	安心して使い続けられる製品・原料の有用性と安全性情報の公開率		100%	2030	—
	$A / B \times 100$ (%)	・ A:リスク評価・安全性評価書作成・同ウェブサイト公開を行なった化学物質数(個) ・ B:生産量、排出量、社会的関心に基づき2020-2030年に選定する花王優先評価物質数(個)	・ 花王グループが取り扱う物質		
	事業拠点において、原材料調達から廃棄までを考慮し、健康・環境・安全への影響を管理できた比率		100%	2030	—
	$\frac{(A_1 + A_2 + \dots + A_c)_1 + \dots + (A_1 + A_2 + \dots + A_c)_D}{(B_1 + B_2 + \dots + B_c)_1 + \dots + (B_1 + B_2 + \dots + B_c)_D} \times 100$ (%)	・ A:化学物質に係るリスクアセスメント実施項目数(件) ・ B:化学物質に係るリスクアセスメント対象項目数(件) ・ C:工場数(カ所) ・ D:リスクアセスメント対象項目数(①作業場 GHS表示、②SDSメンテナンス、③アセスメント(定性)、④リスク低減措置)	・ 花王グループが保有する工場		